

車体解体マニュアル

照明車

コーワテック株式会社

TEL : 0467-72-5081 (湘南事業所)

作成日 令和3年9月3日発行

目次

目次.....	2
1. はじめに.....	3
2. 解体時の留意事項.....	3
3. 解体手順及び車両装備品一覧.....	3
4. 車両装備品の取り外し.....	4
5. 外装部品の取り外し.....	4
6. 内装部品の取り外し.....	4
7. 車体外箱の取り外し・解体.....	5
8. 車体床骨格の取り外し・解体.....	5

1. はじめに

- 1.1. 本マニュアルは照明車の解体に際し、使用済み架装部位の処理を行うための手順を記載したものです。
- 1.2. 本マニュアルに記載のない製品または内容につきましては、製品に記載されたメーカーへ直接お問い合わせのうえ適切な処理を行ってください。
- 1.3. 本マニュアルに記載する内容は予告なく改訂する場合があります。予めご了承ください。

2. 解体時の留意事項

- 2.1. 弊社の車体は鉄製骨格及び鋼板等で構成されており各部は溶接または螺子類にて結合されております。解体に際し溶接部は切断機やサンダー等、ボルトやビスはスパナやドライバー等、リベットについてはドリルなど目的に合った専用工具を用いて作業を行ってください。
- 2.2. 解体した部品は鉄・非鉄金属・ゴム類・樹脂・ガラス・配線材等材質別に分別し適正な処理を行ってください。
- 2.3. 取り外した螺子類についても材質別に分別して適正な処理を行ってください。

注意！

螺子類には表面処理として六価クロムが含有されている場合があります。

3. 解体手順及び車両装備品一覧

架装ベース車のシャシ関係及び架装部品については、ボデーより取り外した後、各シャシメーカー・部品メーカーの定めた指示に基づき解体・廃棄を行ってください。

- 3.1. 車輛解体の前に以下の物質の抜き取りを行い、それぞれ定められた方法で適切に処理を行ってください。
 - 1) 燃料関係（車両用、発電機用他）
 - 2) 油脂関係（エンジンオイル、ブレーキ、ミッション他）
 - 3) 冷却水（車両用、発電機用他）
 - 5) クーラー冷媒（車両用）

3.2 照明車の車両装備品一覧

照明装置	発動発電機	水圧ポール
監視カメラ	油圧ジャッキ	水圧ポンプ
旋回俯仰装置	油圧ポンプ	水タンク
LED 安定器	変圧器	配電盤

4. 車両装備品の取り外し

- 4.1. 車両バッテリーより配線を取外してください。また、発動発電機にもバッテリーが搭載されていますので、配線を取外してください。
- 4.2. 前項リストに記載されている機器及び部品を取り外してください。取付はボルトまたはビス固定となっており、取外し後の廃棄方法につきましては各部品メーカーにお問い合わせください。
- 4.3. 発動発電機を取り外す際は、事前に燃料・油脂類・冷却水の抜き取り作業を実施してください。
- 4.4. 水圧ポール・水圧ポンプ・水タンクを取り外す際は、事前に不凍液の抜き取り作業を実施してください。
- 4.5. 油圧安定ジャッキを取り外す際は、事前に作動油の抜き取り作業を実施してください。

5. 外装部品の取り外し

- 5.1. 灯火類（ヘッドランプ、フォグランプ、サイドターンランプ、リヤコンビネーションランプ、作業灯、路肩灯、赤色点滅灯）の取り外し。
- 5.2. 運転席ドア・助手席ドア・後面観音扉・側面点検扉の取り外し。
ドア本体とハンドルやガラス、ゴム等は分解してください。
- 5.3. サイドガードの取り外し。
- 5.4. 油圧ポンプ固定台の取り外し。
カウンターウェイト用マウントベースとして兼用しており、重量物となります。取り外しにご注意ください。
- 5.5. 油圧安定ジャッキ用配管取り外し。
樹脂、ゴム、金属に分別し、処理してください。
- 5.6. 燃料タンク・乗降用展開ステップ等床下部品の取り外し。
タンク内部の残燃料には十分注意してください。またステップは非鉄金属も含まれるため分解してください。
- 5.7. その他、架装外装部品の取り外し。
樹脂、金属に分解してください。

6. 内装部品の取り外し

- 6.1. 車両カーペット等室内装飾品の取り外し。
- 6.2. 定員座席の取り外し。
フレームとクッション及び表皮など素材別で分解してください。
- 6.3. 架装電装品の取り外し。
樹脂、金属と分解してください。

6.4. 水圧ポール用配管の取り外し

樹脂、ゴム、金属に分別し、処理してください。

6.5. 操作配電盤・監視カメラ HUBBOX 等室内電装部品の取り外し。

電装部品には、環境負荷物質が使用されている場合があります。
操作配電盤は重量物となります。取り外しにご注意ください。

7. 車体外箱の取り外し・解体

7.1. 車体各所の扉を取り外してください。

ドア本体とハンドルやガラス、ゴム等は分解してください。

7.2. 通路部の床板及び発動発電機搭載部の床板を取り外してください。

ネジ固定以外にシール材で接着されておりますので適宜カッター等で切り離してください。

7.3. 車体外箱の溶接部はサンダーで削り、取り外します。

7.4. 車体外箱の内部よりボルト固定している箇所を取り外してください。ボルト固定のほかに溶接及びシール材接着されておりますので適宜、切り離してください。

7.5. 解体は溶接結合部をサンダーにて削り、取り外すかまたは切断機にて結合付近の骨格を切断、必要に応じて結合されているパネル同士を分解して、廃棄可能な状態に裁断してください。

8. 車体床骨格の取り外し・解体

8.1. 床骨格はベースシャシのフレームとボルト締結部を外し、溶接部はサンダーにて削り、取り外してください。

注意！

床骨格の取り外しの際は必ずクレーン等で吊り上げた状態で行ってください。カウンターウェイト内蔵の為、重量物となり、落下すると大変危険です。（クレーンの吊り上げ能力は500kg以上必要です。）

8.2. 床骨格解体の際は、溶接結合部をサンダーにて削り、取り外すかまたは切断機にて結合付近の骨格を切断し、廃棄可能な状態に裁断してください。

8.3. 床骨格とシャシフレームとの間の樹脂材は分別し、処理してください。